

あなたの手を、世界の誰かに。



2015年10月13日

セカンドハンド通信 NO.82

公益社団法人 セカンドハンド 本部事務局 TEL&FAX 087-861-9928
〒760-0055 香川県高松市観光通1-1-18
E-mail:jimukyoku2hand@yahoo.co.jp http://2nd-hand.main.jp/

SECOND
HAND

小学校建設支援が決定！ チヨム・ノブ・コキ小学校

今年度、セカンドハンドは19校舎目となる学校建設支援に取り組みます。カンボジアのバッタシバン州にあるチヨム・ノブ・コキ小学校。この小学校は国道から4WD車で1時間もかかる奥地にあり、教育環境は劣悪です。児童数は150人、5クラスに分かれています。雨季になると、トタンの屋根では雨音で先生の言葉が聞こえません。ひどい時には床下浸水が起り授業の中止も免れない状況です。壁のない教室では吹き込む風や雨も子どもたちの学習を邪魔します。これが一時ではなく、毎日このような環境の中で学習しています。しっかりとした屋根や壁がある校舎は、子どもたちの教育を支えるためにぜひ必要です。

子どもたちが安心して勉強し、それぞれの夢を描けるように、みなさんのご協力を願いいたします。



連携団体：公益社団法人シャンティ国際ボランティア会（SVA）
事業予算：約650万円（1\$=125円計算）

※校舎（1棟3教室）の建設費ならびに家具等の教室準備、貯水タンク建設費、建設中および建設後のモニタリングなどの経費も含まれています。

この学校建設支援の地を、セカンドハンド・ユースの学生2名と事務局職員が10月下旬に視察してきます。現地の詳しい状況や子どもたちの声などは、次号でお伝えしますのでお楽しみに！

この事業に寄付金を通じて支援頂けます方は、ウェブサイトからPaypalにてご寄付いただか、折り込みの払込取扱票をご利用いただき郵便局窓口にて振替口座までご送金ください。※通信欄に「教育支援」とご記入ください。

口座番号：01610-0-100776
加入者名：公益社団法人セカンドハンド

被災地への支援 ご協力ありがとうございます！

ネパール大地震緊急支援募金として、店舗の募金箱や街頭募金活動でお預かりしました合計39,442円を日本赤十字社香川県支部に寄贈させていただきました。皆様のご協力、誠にありがとうございました。また、11月中旬頃まで、茨城県など台風および大雨により被災された地域の方々を支援するための街頭募金なども実施しています。ご協力よろしくお願ひいたします。



「セカンドハンド」は、ボランティアが主体となって運営する国際協力団体です。主な支援先はカンボジアで、学校建設や奨学金支援などのほか、自立・医療・孤児院支援を行っています。資金源は皆様のご寄付とチャリティーショップ(提供された品物を無報酬のボランティアスタッフが販売)。一人ひとりの力は小さくても集まれば大きな力となるをモットーに活動しています。世界の誰かのために、あなたの力を貸してください。

商品提供やご寄付など、支援してくださった皆様へのお礼とご報告は、このニュースレターにかえさせていただきます。

教育支援



ムエンバ・プライマリースクール

支援内容

屋根、窓、床、窓枠以上の壁を一新し、レンガ作りの外壁をセメントで綺麗にコーティングします！

政府から指定を受けていたりする学校ですが、政府からの補助はなかなか届いていません。窓やドアが無く、屋根にも穴が空いており、気候の良い時期でも、決して勉強に集中できる環境とは言えませんでした。

建築作業をする地域の大工さんは、ほぼ無償で作業にあたっているにも関わらず、資材調達が追いつかないほど順調に工事が進んでおり、工事開始後約1カ月半で完成が見えてきました。



カムロブエ・コミュニティスクール

支援内容

屋根、窓、床、壁、全てを一新し、新品の机を40台投入します！

支援対象の教室は、床のセメントが既に剥がれているため、土埃が舞い、生徒が咳込む状態でした。椅子や机も十分に無く、要らなくなった本棚やレンガの上に座ったりして授業を受けていました。

校舎の他に教員住宅を建設しており、校舎修繕作業の開始が遅れましたが、7月に入り本格的に作業が始まりました。古い校舎の屋根が外され、校舎が生まれ変わる準備が進んでいます。

※連携団体:NPO法人TICO 本事業の全体事業予算(工事資材費、管理費を含む)180万円の支援をセカンドハンドが行いました。



子どもが本に触れる機会を増やし、好きになるよう、図書館設置後に運営する人材を育成するのがこの事業です。運営に携わる校長、図書館員等を対象に本の分類、修繕、貸出記録のつけ方だけでなく、読み聞かせや教材制作などの研修も実施しています。最初は読み聞かせに戸惑いや抵抗を示す人もいますが、子どもたちへの実際の読み聞かせを通じ、その必要性や楽しさを理解するようになります。

子どもと一緒に横断幕を掲げ、地域住民に図書館の重要性を訴える行進をしたり、子どもが読み聞かせをするイベントも開催。結果、本の貸し出し数が増え、地域住民からは募金や本の寄贈などでサポートしてもらえるようになりました。

この事業は（公社）シャンティ国際ボランティア会より協力依頼があり、全事業費約313万の内、60万円を支援させていただいている。

校長先生(写真左端)からのメッセージ

校舎を修復するために、生徒の親から献金を集めましたが、剥がれたセメントを修復するお金さえなかなか集まりませんでした。この修繕作業が終わったら、生徒が勉強に集中できることでしょう。ありがとうございます。日本の支援者の方々に、どうか感謝の言葉を届けてください。



★ 現地からの喜びの声 ★



キム・ラビイさん
(小学校図書館員)

以前、図書館に興味がなく校庭で遊んでいた子も、今では図書館に走ってきます。子どもたちの学習意欲が旺盛になりました。ご支援に心よりお礼申し上げます。



サカダさん(11歳、4年生)

両親と7人の兄弟で、好きな科目はクメール語です。図書館では読書や、絵を描いて友達と遊んでいます。僕の好きな本は、リストの子育てについて写真付きで説明している本です。将来は警察官になって国を守りたいです。

孤児院支援

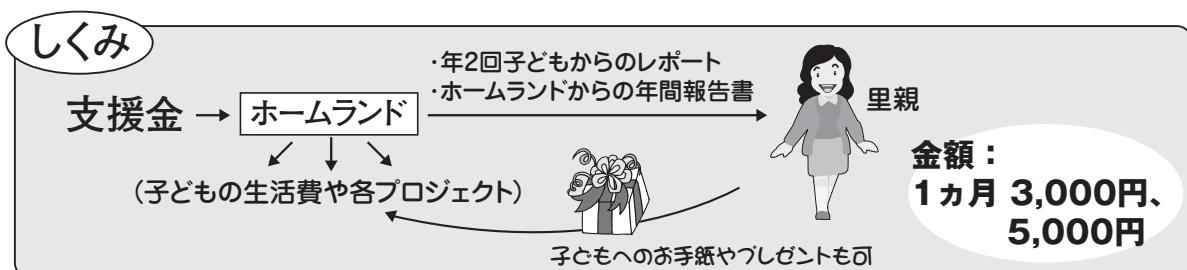
フォスターペアレント(里親)募集中！

カンボジアの経済発展の影に大きな格差があります。同じ孤児院でも観光地の近くで立地がよくてアピールが上手い団体には支援者が集まっているのに、ホームランドは10年前から海外の支援が減少しています。NGO団体の経営力の差と言えば、そこまでですが、そこに住む子どもたちは同じ子どもたち…。そもそも、職員の数がギリギリで無償ではないけど半分ボランティアのような形で運営しているホームランドにはプロとしてのスキルがないのが事実です。

設立当初からお付き合いしているセカンドハンドとしてお手伝いしようと8年前にフォスターペアレン

ト制度を立ち上げましたが、これまた私たちの広報力のなさ(涙)もあり、支援額が十分に集まらない状況です。単発の寄付を頂くことはあるけど、現在セカンドハンドだけが継続的に支援している団体という状況です。

ホームランドを支えるため、子ども達の心の支えとなるため、フォスターペアレント(里親)となって支援をしてくださる方を募集しています。定期でなく単発の寄付というのも歓迎です。ぜひ皆様のご協力をよろしくお願いいたします！



支援されることで子どもは、精神的に強くなっているそうです。社会から見放された子どもたちにとって「誰かが自分のことを気にかけてくれている」それだけで、心の支えになります！

フォスターペアレント制度は、カンボジア・バタンバン州のホームランド孤児院で暮らす子どもたちを経済的にご支援いただくものです。子どもたちの食事を始めとする生活費、教育費、親がいる場合は親元で暮らせるように親の支援や教育（子どもを二度と人身売買の被害に遭わせないため）の活動費などに充てられます。支援する子どもとは手紙などで交流もできます。子どもたちの精神的な支えにもなる、この仕組みで、子どもの今と未来のためにご協力ください。詳細は事務局まで。

フォスターペアレントへの手紙(レポート)をご紹介！

お母さん、お元気ですか？僕はとても元気です。お母さんも元気だと嬉しいです。お母さんに日本で会えた時は本当に幸せでした。次はいつ会えるか分かりませんけど…いつもお母さんの幸せを願っています。お母さん、大好きです。そして、日本も大好きです。では、またね！ ソパラ よう



ソパラくんの直筆の手紙

ソパラ君のお母さん、若杉さんのコメント

学生時代にセカンドハンドのスタディーツアーでホームランド孤児院を訪問し、子ども達の無邪気さと可愛さに癒され、この子達のために何かできないかと思っていました。1年に2回送られてくるソパラ君の写真付きレポートを見る度に大きくなっている姿に感動し、「自分の存在が少しでもこの子の支えになるなら」と元気をもらっています。



ソパラくんと若杉さんご夫妻。7月に若杉家にソパラ君の妹が誕生！おめでとうございます！

チャリティーショップを広げるために



英国には今や1万を超えるチャリティーショップがあります。日本のチャリティーショップの数は、現在100店舗くらいと推測されています。100分の1ですね。

チャリティーショップには魅力がいっぱい！利用する人も関わる人も、ハッピーになれる要素がいっぱいあるんです。だから日本にも広げたいと、セカンドハンドはモデルになるべく頑張っています。…が、なかなかです。



市民に愛される英国のチャリティーショップ

なぜ広がらないの？

なぜなんでしょうね… 社会をよりよくするための活動資金を作れる仕組みで、リユースを促進する環境にもいい活動ですし、幅広い年代、様々な背景の人たちがボランティアとして参加することができる場。とても素敵な人たちが集まつてくる場なんです。徐々にその魅力、意義深さへの認識は広まっていますが、なぜショップが広がっていないのか…皆さんはどう考えますか？

客観視するための材料

おそらく答えはひとつではないでしょうが、考えていく上で世界と比較するための日本の現状を知ることも大切です。他の国と比べても文化的背景も違うし意味がないという人もいますが、自分自身を知るために他を知ることも重要。ボランティアや寄付についての動向を研究する組織が日本でも増えてきましたが、そういう取組みがこれから日本を変えていく鍵となっていくことでしょう。その点、英国ではチャリティーやボランティアに関するデータが豊富です。政策に反映させるだけの根拠をデータで示すこともできるので、変革を訴える側も為政者も納得してもらえる説明が可能になります。

比較してみよう！

調査時の1か月以内に寄付などの行動をした人の人口に対する割合と135か国中の順位を示したものです。

	総合		見知らぬ人を助けた		寄付した		ボランティアに参加	
	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%
アメリカ	1	64	1	79	9	68	5	44
ミャンマー	1	64	63	49	1	91	2	51
カナダ	3	60	11	66	6	71	5	44
アイルランド	4	60	15	64	4	74	10	41
ニュージーランド	5	58	7	69	13	62	5	44
オーストラリア	6	56	12	65	10	66	16	37
マレーシア	7	55	19	63	15	60	10	41
英國	7	55	24	61	4	74	33	29
日本	90	26	134	26	62	24	39	28

World Giving Index 2014 (2014年11月Charities Aid Foundation)

英国の事例から学ぶ

英国、アイルランドのチャリティーショップが加盟するチャリティ小売業協会（CRA）には、現在会員団体が約400、その団体が運営するショップ数は8000店舗以上あります。

この協会はチャリティーショップに関する法律や規制を監視し、政府などへ働きかけを行うほか、環境、地域についてどのような貢献をしているか広報したり、加盟団体に最新情報や専門知識を発信したり、関連機関と密に連携することによりチャリティーショップの普及・強化に貢献しています。

具体的な取組み例としては、ギフト・エイド^{(*)1}の改善のための政府への働きかけ、リサイクル関連など業界との価格の交渉、市民に向けての広報活動、チャリティーショップ業界に関する研究や分析、専門家による助言や白書の発行、各種勉強会などの機会提供、関連業者による展覧会や優れた取組みを表彰する大会開催などが挙げられます。

大会に参加してきました！



キールホールの外観



全体講義の様子



企業の展示ブースの様子



企業の展示ブースの様子

6月29日、30日の2日間開催されたチャリティ小売業大会は、講義（全体と分科会）、企業の展示ブース、表彰式と交流のためのパーティーなどが催され、会員はじめ関係業者約600名が集まりました。会場はヨーロッパ最大の広大なキャンパスを持つキール大学です。

ここで一番驚いたのがチャリティーショップを対象にビジネスを展開する企業が多数出展していました。例えばレジで使用する最新のソフトウェアを開発している会社が複数あり、税金の計算や割引などがタッチパネルで簡単に操作できるほか、ギフト・エイドにも対応し、売上げの集計や分析もできるように開発されています。ディスプレイ用の什器の展示や売れ残ったものを回収する業者など47社が出展していました。

もちろん、チャリティ団体には一般より安く販売していて、小さい組織ほど割引をしてくれる場合が多いというのも弱者を助けるチャリティ精神に則っていて素敵ですね。

夜は大学の敷地内にある、キール・ホールでディナー・パーティー。古城のようで風格ある建物で、イブニングドレスやタキシード姿の人に囲まれ、食前酒のワインより雰囲気に酔いそうでした。日本初のチャリティーショップということもあり、トップ・テーブルに招かれ、主賓の方々と食事を共にしました。支えて下さっている皆さん、日本のチャリティーショップ関係者を代表していることを心に留め、隣に座るCRA理事長らと日本のチャリティーショップ事情などについて話しました。「時間がかかること。だけど諦めないで！」「できることがあれば何でも協力するよ」と励ましの言葉をいただきました。

団体や自己推薦によってノミネートされたボランティアやショップの表彰では大歓声を伴う盛り上がり。表彰されたボランティアの男性は、団体のチャリティーコンサートのチケットを一人で300枚以上販売したとか…。



ディナー・パーティーの様子



表彰式の様子

■英国視察は平成27年度独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を中部リサイクル運動市民の会が受け4名が渡航。セカンドハンドからは新田が参加。

写真:CRA提供

日本でチャリティーショップネットワークを設立します！次号ご報告予定！

*1 ギフト・エイド (Gift Aid)

1990年に導入された寄付に対する税制優遇制度。寄付者の意思表明により、寄付者個人ではなくチャリティ団体が還付を受け取る仕組み。例えば、100ポンドを団体Aに寄付をすると、25ポンドが税務局から団体Aに支払われる。2000年の税制改正で最低寄付額や回数など制限が撤廃されたほか、寄付ごとに必要だった証明書が一度申請すると辞退申請まで有効となり、書面やオンラインでも申請可能になった。こういった改善はチャリティ団体側から求めたものであるが、政府側も寄付しやすい制度をつくることに大変積極的である。

11月14日(土)・15日(日) ガレージセール開催!

セカンドハンドの多賀町倉庫でガレージセールを2日間、行います。大型家具、本、額、絵画、人形、等、普段はスペースの関係上お店で出すことができない商品をドーンと並べます!ぜひ皆様お越しください!

日時：11月14日(土)・15日(日)10時～16時

場所：セカンドハンド多賀町倉庫(高松市多賀町 2-12-10)

※駐車場あり（数に限りがあります）



ボランティアスタッフの
皆さんと行く!

見学ツアーを実施しました!

9月13日にボランティアスタッフ、理事長、丸亀店マネージャー、事務局職員の計11名で、徳島県で活動するNPO法人「太陽と緑の会」へ行ってきました。ここでは、さまざまなハンディがある方々の、働く場としてリユースショップの運営をされています。広い敷地に、たくさんの商品が並ぶ店舗。毎日トラック5台分の商品が届くそうです。なんといってもハンディがある方がそれぞれの自分に合った作業に笑顔で取り組んでおられたのが印象的でした。また、一緒にお店を支えているボランティアや職員の皆さんへの熱意にも頭が下がりました。同じように無償で提供されたりユース商品を販売する活動をする団体ですが、工夫している点が色々と違っています。

参加したボランティアスタッフの皆さんからは、「活気があった」「宝探しのような面白さがあつてよかったです」との声があり、その後の活動の中でも「太陽と緑の会ではこんな風にしていたけど、セカンドハンドではどうだろう?」などの会話が聞こえてきます。

セカンドハンドで活躍するボランティアスタッフの皆さんに、セカンドハンドとは違う運営方法、運搬の

流れや、仕分け方法、ディスプレイなどを見学してもらい、これから活動に生かしてもらうことができたらという思いから、今回初めて企画したツアーです。これからも、セカンドハンドのショップをより良くするために、またボランティアスタッフの皆さん自身のスキルアップやモチベーションアップのために、勉強会、交流、意見交換の機会としての研修旅行を企画し、ショップの活性化を図りたいと思います。

協力企業：マルイ観光バス（株）（格安でバスをお借りしました！）



店頭に並ぶたくさんの商品!

ご寄付いただきました!

株式会社タダノ タダノハートフルポケット

有志社員と会社がお金出し合って社会活動を行う団体に寄付する取り組み「タダノハートフルポケット」においてセカンドハンドの活動が認められ、活動運営の補助として20万円のご寄付をいただきました。ご寄付は、本部ビルの階段手すり設置や照明の増設、店舗で活動紹介映像を流すためのモニター購入といった運営基盤強化の費用に充てさせていただきました。

YOU俱楽部

チャリティーパーティー

7月5日、25周年を迎えたYOU俱楽部が今年も恒例のチャリティーパーティーを名古屋市で開催しました。コンサートや協力アーティストの貴重な作品のオークション等が行われるチャリティーパーティーに100名以上の方が参加されました。参加することがチャリティーに繋がる素晴らしいパーティーでした!今年も会場でカンボジアのクラフト品の販売をさせて頂いたほか、収益金の一部、15万円をセカンドハンドに寄付して頂きました。

各地でひろがるセカンドハンドの輪

セカンドハンド・ユース

例年開催していた国際協力ステージを新しいイベントとして行います！歌やダンス、マジックなどがステージで披露されるのに加えて『交流』をテーマにみんなで国際協力について考え知ってもらうイベントを企画しています。このイベントから国際協力の輪、そして交流の和を広げたいという思いをこのタイトルに込めていました。みんなで国際協力について楽しく学んでみませんか？皆様のお越しをお待ちしています！また、イベントの実行委員やユースのメンバーも大募集中です！興味のある方はぜひご連絡ください♪→secondhand_youth@yahoo.co.jp

●第4回街頭募金

日時：10月17日（土）12～13時

※セカンドハンド本部に集合です。参加したいという方は事前にご連絡ください。

●国際交流イベント～ここからはじまる和～

日時：11月21日（土）13～16時

場所：アイパル香川（香川国際交流会館）

※イベント内で、ユースメンバー2名のカンボジア視察渡航報告会も行います！

セカンドハンド丸亀店

丸亀店は7月よりパワーシティ丸亀店2階から1階の独立店舗に移動しました。以前の場所からスペースがかなり小さくなつたのでお客様に満足していただけるか不安でしたが、「商品は少なくなったけど、こじんまりとして見やすくなった」「車を横付け出来るので、急ぐ時でもすぐ見られるし、買ったものをすぐ積める」などの常連さんのお声や「前を通ったので入ってみたけど面白い活動してるね、がんばってください」など新しく出会ったお客様からも応援の言葉をいただいています。これからも「あそこへ行けば何かがある楽しみなお店」を大切に、厳選したものを皆様にご提案してまいります。

セカンドハンド福岡店

福岡では新しいお客様と出会うことが減ってきてしまっていますが、セカンドハンドのアピールの場として皆さんと交流できるのを楽しみにしています。

11月3日（火・祝）

フリーマーケット出店@草ヶ江幼稚園

セカンドハンド京都

バザーや展示など一緒に活動してくれる仲間を募集中です！

11月3日（火・祝）

kokokaオープンデイ2015@京都市国際交流会館

第13弾!!

「どんな人達がボランティアしているの～？」 ～お店番ボランティアスタッフ編～

今回は、高松店・片原町店の両店舗を、安心してお任せできるこの二人をご紹介！



氏家節子さん(70代)

（足踏みミシンを提供した事がきっかけで、セカンドハンドを知る。いつもニコニコ笑顔で和ませてくれます。困った時には頼れる存在、お店番の救世主！）

仕事も辞めて1・2年した頃、街でボランティア募集のちらしを見つけました。それまで、セカンドハンドがお店をしていたことも知らず、店の前を何度も通っていたんですけど気付かずにいたんです。チラシを見て、あの時のミシンのところだと思い出して。時間もあるし、やってみようかなと思って始めて、今まで続けています。他のボランティアの方やお客さんとお話できるのが本当に楽しいです。自分が楽しんでやっている活動が、他の人の役に立つのには嬉しいですね。支援の報告もしてもらえて、身近に感じながら活動できるのがいいです。セカンドハンドは、社会との窓口です。仕事を辞めてから、社会との繋がりが少なくなつてたけど、ここではそれを感じることができます。



釜埜やす子さん(60代)

（毎回バスや徒歩を駆使し、遠くから通つてくれる。それでいて、丸一日お手伝いして下さる日も！明るいキャラクターでみんなを楽しませてくれる。作業スピードはセカンドハンドNo.1！）

バザーを見に行って、その帰りにボランティアに申し込みました。提供頂いた品物を見たり、「これは誰が買ってくれるかな？」と想像を膨らませながら商品を並べたりするのが楽しみです。それに、自分を飾らずにお客さんと他愛もない会話ができることも楽しみの一つです。身体を動かすことも好きなので、ここでの作業は自分にぴったりだと思います。家を空ける時間帯もあるけれど、主人も活動を理解してくれるので、本当に助かります。セカンドハンドのことを、もっとたくさん的人に知ってもらいたいです。このシステムは本当に素晴らしいと思います。教育は本当に大切です。学校に行く事の出来ない子どもたちのためにも、これからも支援を続けていってほしいと思います。

information

Second hand Official Supporter:SOS会員募集

SOS会員はセカンドハンドのファンクラブのようなもの。ファンとして活動を支えてください！お申し込みは同封の払込用紙のご利用もしくは定額自動引き落としもご利用いただけます。お名前、ご住所を事務局までお知らせいただければ、所定の申込用紙を郵送いたします。(セカンドハンドのウェブサイトからもダウロードできます)

	月々	1年一括
個人	一口 1,000円	一口 12,000円
法人	一口 2,000円	一口 24,000円
学生		3,000円

- ◆皆様への手数料等のご負担はありません。
- ◆会費は寄付金控除の対象となります。
- ◆特典：報告書などの無料送付
カンボジア商品の割引購入
主催コンサート時の優待席確保 ほか

セカンドハンド丸亀店パートスタッフ募集

店舗の運営、商品の段階付け、ディスプレイ等のできる人材を募集しています。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

探しています

白コピー用紙・色コピー用紙(どちらもA4サイズ)、プリンターリンク・蛍光灯(メーカー・型番をお問い合わせください)、油性マジック(各色)

通信発送についてお知らせと ご協力のお願い

今年度よりセカンドハンド通信の無料発送を年2回(4月・10月)とさせて頂きます。ただし、年間1,000円以上のご寄付を頂いている方、商品提供者、SOS会員には、引き続き年4回無料で発送させていただきます。読みやすく、成果がみえ、学べる通信を目指して制作しております。制作・郵送費カンパとして年間1,000円以上のご寄付で応援してください！

商品提供の受付

冬物衣類:9月中旬～1月中旬

春物衣類:1月中旬～4月中旬

※季節を問わない物に関しては常時受付可

[持込先]セカンドハンド高松店

[送り先]これまでセシールさんに倉庫での荷物受取りをご協力いただいていましたが、ご都合によりご協力いただけなくなつたため、当面は下記宛に送付お願い致します。受取り場所などが決まれば、お知らせします。

郵便番号	宛 先	宛 名	電 話
ゆうパック 760-8799	香川県高松市 高松中央郵便局留 高松市觀光通1-1-18	公益社団法人 セカンドハンド	087-861-9928
クロネコヤマト 760-0051	香川県高松市田町12-7 ダブルス和田1階 高松田町センター止め		

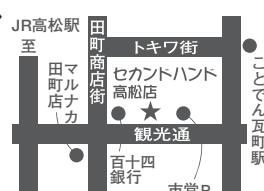
セカンドハンド イベント&ボランティア情報

月々の会計報告書はセカンドハンド店頭に掲示しています。

日 程	内 容	場 所
11月1日(日)～30日(月)	レトロフェア	セカンドハンド店原町店
11月14日(土)、15日(日)	ガレージセール	セカンドハンド多賀町倉庫
12月19日(土)	セカンドハンド通信発送作業・本部大掃除	セカンドハンド本部4階

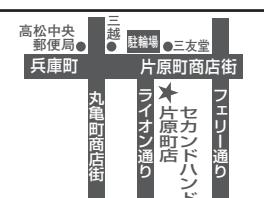
本部・高松店

■セカンドハンド本部(3F)
■高松店(1F)
〒760-0055
高松市觀光通1-1-18
TEL:087-861-9928
営業時間:
月～金 10時～16時
土 11時～15時
日・祝日は定休日



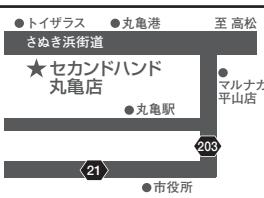
片原町店

〒760-0040
高松市片原町9-1
TEL:087-822-3552
営業時間:
月～金 10時～18時
土・日・祝日 10時～17時



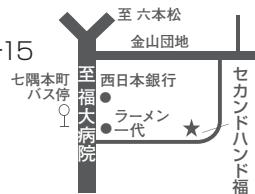
丸亀店

〒763-0063
丸亀市新浜町1-803-2
マルナカパワーシティ丸亀店内
TEL:0877-25-2876
営業時間:10時～18時
木は定休日



セカンドハンド福岡

〒814-0131
福岡市城南区松山2-7-15
TEL&FAX:
092-871-5760
営業時間:
月 11:00～15:00



セカンドハンド大阪

徳
(E-mail) tokuyo@d1.dion.ne.jp

セカンドハンド北海道

吉田
(Email) 2hand.hokkaido@gmail.com
<http://www.facebook.com/secondhandhokkaido>

セカンドハンド関東

早船
(Email) 2hand.kanntou@gmail.com

セカンドハンド京都

菅谷
(Email) nsugaya0203@yahoo.co.jp

お店番、仕分け作業、事務、イベント運営、チャリティーショップやセカンドハンドの運営を支えてください。ボランティア募集！

☆このセカンドハンド通信は3ヵ月に一度発行しています。封筒作り、発送作業等をボランティアで行い、年4回会員(SOS会員や商品提供者等)に、その内2回を全国の支援者へ無料で発送しています。購読希望の方は、ハガキ、FAX、メールなどでお申し込みください。